

医療緊急事態宣言

山口県では、感染力の高い変異株の出現により、5月の連休明けから新型コロナウイルスの感染拡大はとどまるところを知らず、確保病床使用率や療養者数は、感染状況のステージ4（深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階）に達しています。

変異株による感染では、中等症及び重症へ移行する割合が高く、若年者の感染者でも重症化する事例が頻発しています。昨日までの情報では、36名の感染者があり、入院中の患者さんは330名、重症者は10名、中等症は192名、軽症等は128名、入院調整中は50名となり、医療体制が逼迫し、非常事態です。山口大学附属病院では、既に重症者用ベッド5床は満床となり、新たに重症の患者さんが出てきても入院できない状況になっています。ホテル宿泊療養者の中でも、症状が悪化して入院しなければならない患者さんも増えています。

また、今般の医療現場では、新型コロナウイルス感染症に対する医療のみならず、救急患者の受入れや、がん、心筋梗塞等、既存の疾患に対する医療が圧迫されつつあり、本来守れたはずの命も守ることができない程の事態に状況は逼迫して来ています。

新型コロナウイルス感染症の発生当初より、我々医師は、身近な診療所での相談・診療・検査や、重点医療機関、入院協力医療機関、後方支援病院等の各施設で入院病床の確保・治療や宿泊療養施設での療養管理などに取り組んできました。

一昨日、医師会と病院協会の連名で、今後も一致協力し、知恵を出し合い、支援しながら新型コロナウイルスに立ち向かっていくことを医療機関に向けて宣言したところですが、感染の拡大を防ぐために最も重要なものは、新たな感染者を増やさないことです。

県民の皆様には、これまでも行動変容に取り組まれ、不便な生活も我慢されていますが、これまで以上のお一人おひとりの粘り強い行動が、感染拡大から収束へと道を拓くこととなりますので、ご協力をお願いします。

○ **外出・移動の自粛**

不要不急の外出の自粛、県外との往来の自粛などをお願いします。

○ **感染予防対策の徹底**

3密の回避、マスクの正しい着用、こまめな手洗い、手指消毒などをお願いします。

○ **かかりつけ医や受診・相談センター等に相談**

発熱・咳など感染を疑う症状があれば、速やかに相談をお願いします。

令和3年5月21日

一般社団法人 山口県医師会

一般社団法人 山口県病院協会